

会報

2024年4月号

東京アルコウ会



江戸川土手に咲き乱れる菜の花

◆ 4月委員会

期日: 4月28日(日) PM 1:30~2:45

於: 赤城生涯学習館

議題: 年次総会の各議案についての委員会承認

◆ 年次総会(委員以外の会員も参加)

期日: 4月28日(日) PM 3:00~4:00

於: 同上

議題:

第1号議案 2023年度会計報告

第2号議案 新任委員の選任、代表委員の選任

第3号議案 会則の改定

第4号議案 2024年度予算案

◆ 5月委員会、集会

5月26日(日)開催予定

<4月、5月の山行計画>

4月4日(木)~5日(金)新瀧・角田山(482m)~弥彦山

(634m) L 宍戸

(実施済み)

4月13日(土)百蔵山(1003m) L 薄

集合: 中央本線「猿橋駅」午前 9:30

標準コースタイム: 4時間15分

4月20日(土)権現山(1312m) L 後藤

集合: 中央本線「猿橋駅」午前 8:10

標準コースタイム: 4時間20分

4月24日(水)奥多摩・霞丘陵 L 宍戸

集合: 中央線「東」青梅駅 午前 9:30

5月6日(月、祝)倉見山(1256m) L 宮澤

集合: 富士急「東桂」 午前 9:30

歩行時間(休憩含む): 6時間

5月15日(水)箱根・明神ヶ岳(1169m)~明星ヶ岳

L 薄

集合: 箱根湯本駅バス乗り場3番

コースタイム: 4時間20分

5月25日(土)顔振り峠(500m)・越上山(566m)

・ユガテ(290m) L 後藤

集合: 吾野駅改札口 午前9時30分

コースタイム: 3時間50分

5月30日(木)~31日(金)甲武信ヶ岳(2475m) L 薄

集合: 5月30日(木)北陸新幹線浅間601号 長野行き

東京駅 6:52始発(1号車~5号車自由席)

5月30日: 甲武信小屋泊

コースタイム: 1日目 4時間20分, 2日目 4時間

復路: 山梨駅16時20分発特急かいじ⇒17:52新宿着

*各計画の詳細は新HP (Wix)の山行計画を参照、同HP掲載の日程調整アプリ「調整さん」に参加する場合○印を記入願います。

*上記を利用出来ない会員で各ハイキングへの参加希望者は山行計画実施1週間前までに以下のグループメールアドレスに申し込んで下さい。

tokyo.arukoukai@gmail.com

山行報告 山行回数 No. 5849

○ 2024年3月3日(日) 快晴

富士吉田・新倉山

= 係 後藤 =

参加者：L後藤、宮澤、阪野、三浦、薄、武田、
大井川、大桃、友田、小國

富士急下吉田駅に集合。富士急の車内から富士山がきれいに見えていたが、空は雲一つなく快晴。小さな駅舎は洒落た洋館で天井には鳳凰の絵が描かれ、欧米人などで混雑していた。

駐車場で準備体操をして出発。途中「新倉山浅間公園」の大きな案内看板がある。ありがたい。道の両側は畑であるが、洒落たアイスクリーム店あり、仮設のイチゴや野菜店があった。

中央自動車道をくぐり、川を渡ると浅間神社の入口である。樹木に覆われた急な石段を登る。皆振り返り富士山を撮っている。新倉富士浅間神社に到着。立派な社殿をお願いごとをする善男善女でごった返している。神社を背にすると富士山がよく見える。にわかカメラマンがいっぱい。

踏板幅より段差の方が大きく急な階段をさらに登り、途中から車道にコースを替えて登り、新倉山浅間公園に着く。やや小さい五重塔が迎えてくれる。五重塔は寺の五重塔ではなく忠霊塔であった。人々でごった返しているの、見晴らしのよさそうな山側の見晴らし台に登る。ここから見る風景が、TVなどで話題となっている五重塔と富士と桜の風景である。しかし見晴らし台は狭く満員状態。飛び交う言葉は日本語ではない。とても写真を撮ることなどできそうになく、さらに登り。四阿のある見晴台に行くが、ここも人が多い。休憩もそこそこにさらに登る。道は舗装ではなく擬木の丸太の階段となった。ここから人が少なくなり、やっと山に來たと感じる。礫岩の大きな丸みを帯びた亀石という岩に出会った。さらに登ると、人の頭が入るほどの穴の開いた大きな岩。穴の前に鳥居もあり、ゴンゴン石の案内板。穴に頭を入れると富士山の鼓動が聞こえるとのこと。富士山の

鼓動を聞いた。

さらに登ると雪は今まで道にはなかったが、いよいよ登山道にも積り、一面の美しい雪景色を堪能しつつ登っていく。新倉山山頂に到達。さらに奥へと進み御殿まで行き、ここの見晴らし台で昼食をとる。真正面に見える富士山を堪能しながら、昼食をとった。下りはアイゼンをつけて下った。もと来た道を下り、雪がなくなったところで、アイゼンを外した。雪は薄かったようで、アイゼンに着いたのは雪よりも泥と落ち葉が多かった。

ゴンゴン石、亀石を通り、再び五重塔の上の見晴らし台に着く。来た時より人は少なく、写真も撮ることもできた。日本人と思ってジャケットを依頼すると外国人であった。さらに下り、神社の境内を抜け、道路に出て、下吉田駅に着く。電車に乗り解散とした。

(記 小國)

<コースタイム>

下吉田駅9:20集合。9:57出発⇒新倉山浅間公園10:19~10:57⇒新倉山山頂11:36~11:52
⇒御殿12:00~12:50⇒新倉山浅間公園13:51~14:30⇒下吉田14:45⇒解散15:37





山行報告 山行回数 No. 5850

○ 2024年3月14日(日) 晴れ

高尾山 第4回・梅林コース (599.8m)

= 係 宍戸 =

参加者：L宍戸、SL薄、武田、宮澤、小國、
大桃(利)、久住、三浦(良)、田村(正)
合計9名

行程：

【集合】 JR高尾駅 10:00

【記録】 10:00高尾駅 → 10:55 蛇滝口バス停→

11:10千代田稲荷神社 → 11:30 蛇滝

→12:15薬王院→12:30高尾山頂(休憩30分)

13:00 → 13:55 いろはの森 → 14:00 木下梅林

→ 15:00梅の里入り口バス停

合計時間 約時5時間 (休憩 1時間20分)

距離9.2km のぼり552m/くだり474m(累積)

【報告】

高尾山4回シリーズの最終回も快晴でした。JR高尾駅から梅林コースを辿り、盛りを過ぎてはいましたが、まだまだ香る梅の花を楽しみながら蛇滝入り口まで歩きました。ここからは、薬王院までずっと登り坂や階段が続き、息が上る行程でした。内心、加齢現象のためなのか、こんなに坂があったかと思うほどでした。程なく、山頂でお昼休憩でしたが12時を回っていたのでお腹が充分空いて美味しいお昼でした。恒例の山頂碑での集合写真撮影後、いろはの森を辿って、木下沢(こげさわ)梅林へいきました。こちらは、想像以上の梅林数で、一面の白や薄桃色の梅花に圧倒されました。私はこんな

に沢山の梅の花を見たのは初めてでした。この後は、梅林近くのバス停から無事に乗車しました。春の初めの素敵な1日でした。

さて、「高尾山シリーズ」と銘打って4回連続した高尾山ハイキングでしたが、全てのコースが重複しないように、紅葉や梅の花など季節に合ったコース選定など沢山のアドバイスを薄さんからいただきました。アルコウ会で田村代表をはじめ経験のある会員から助言を貰いながら山行計画を作成したり、登り方やその時々判断などを学ぶことができ、単独ではできない勉強となりました。ここにお礼申し上げます。

(記 宍戸)





山行報告 山行回数 No. 5851

○ 2024年3月17日(土) 晴れ

菜の花摘みと野菊の墓文学碑 散策

= 係 田村(正) =

参加者：L.田村、薄、小國、友田夫妻、
久住夫妻、三浦(良)、三浦(理)、延里、吉田

10時前、北総線矢切駅集合。「三寒四温」が聞かれる昨今ですが、今日は心地よい春風に吹かれまずはジュンサイ池に向かいました。じゅん菜はこの辺りではめっきり珍しくなりましたが、地元のボランティアの方々によって大切に保護されていたので、ここでも見る事が出来ました。次の矢切神社は江戸期の大洪水の後建立されたとかで大ガマガエルの上にご神体が祀られているのが興味深かった。野菊の墓文学碑を回り江戸川土手にて菜の花摘み。おひたしや胡麻和えを料理するために、童心に還ってたくさん摘みました。土手の上で昼食をとった後矢切の渡し船で柴又へ。定員いっぱいの乗客(25名)に船頭さんが気を良くしたのかおしゃべりのオンパレード。

さすが帝釈天、天候に恵まれた土曜日と言う事もあり、たくさんの参拝客が訪れていました。めずらしく珊瑚宮祝賀の舞を見られたとかで、田村リーダーが興奮されていました。仲見世通りのお土産屋や団小屋をひやかしながら3時に解散しました。

開放感のあるジュンサイ池、歴史ある神社や文学碑、ゆったりとした江戸川と菜の花。帝釈天と参道など初春を満喫できた楽しいハイキングでした。

(記 吉田)



山行報告 山行回数 No. 5852

○ 2024年3月24日(日) 曇り

高島平二輪草鑑賞 散策

= 係 小國 =

参加者：L小國、田村（正）、窪田、
椎名（宏）、白石、田村（め）

都営地下鉄三田線高島平駅に集合し、直ちに
出発。大きなケヤキ並木の道を南へ進み、赤塚
公園に出る。公園内の二輪草を探しながら歩
く。最初は赤塚公園番場地区。ここは公園の案
内にもあるとは書いてなかったが、やはりな
かった。道路を横断し、沖山地区に入る。枯れ
木のような低木の木の芽を丹念見ている人が
いるので、聞いてみた。教えてくれたので、そ
こに行くと数輪咲いている。まだ早い。例年であ
ればちょうど満開のころであるが、今年は3月
に真冬の寒さがあり、すっかり遅くなった。さ
らに進むと案内の群生地がある。ここは一面に
二輪草であるが、まだ花は少ない。二輪草は湿
地を好み崖下の窪地に生えている。崖には藪椿
などの花があった。

公園の端まで行き、板橋区郷土資料館へ行
く。お昼になったので、松月院前を通り過ぎ、
大宮バイパス道路に面したファミリーレストラ
ンに行き、昼食と休憩をとった。昼食後松月院
へ行き、高島秋帆の記念碑、千葉氏の墓、下村
湖人の墓を見て、乗蓮寺に向かう。乗蓮寺には
東京大仏、植村直己の墓がある。植村直己の墓
には、

「地球には／もう彼はゐない／けれども生き
てゐる／修身に化けて／植村直己は／私たち
の中に／生きつづける」

と記されていた。

予定では赤塚植物園を見る予定であったが、
まだ冬枯れ状態であるので、中止し帰ること
とし、西高島平駅に向かい、駅で解散した。

(記 小國)

<コースタイム>

高島平駅10：00集合。出発⇒赤塚公園10：20～
11：30⇒郷土資料館11：35～11：55⇒
ファミリーレストラン12：10～13：10⇒松月院

13：30～13：50⇒乗蓮寺13：55～14：10⇒
高島平駅解散14：37



山行報告 山行回数 No. 5853

○ 2024年3月30日(土) 晴れ

草戸山～城山かたくりの里

= 係 薄 =

参加者: 薄(L)、三浦(良)、吉田、延里、白石、武田、成田、後藤、阪野、宮澤、小澤、杉谷、松井(恵)、田村(め) 14名

草戸山は 町田市、八王子市、相模原市緑区の分岐に位置する標高364mの町田市最高峰の山になります。

高尾山駅 9:40 駅前高尾山の方に向かう人が多くて準備体操は省略。

駅から5分程歩いて登山道入り口から細い道をゆるやかに登り始めたが、3月とは思えない程暑く皆早々に上着を脱ぎ、半袖シャツの方もいた。

木の根道のアップダウンを繰り返し 11:20 草戸峠→ 11:40 草戸山 (昼食)

山頂には展望台があるも老朽化の為 使用禁止となっていた。

12:30→12:50 城山湖 14:15→14:35 城山総合事務所バス停 ダム湖は抜水されたのか取水口が見える水位であった。

湖畔の道を歩き、13:10 金刀比羅宮を拝し、急な階段を下り平坦な山道に入る。

13:15 城山かたくりの里。

草戸山ではスマレの花くらいしか咲いてませんでしたでしたが、かたくりの里では薄紫、白、黄色のカタクリ、雪割草、キクザキイチゲ、ショウジョウバカマ 初めて見るタツタソウ、二輪草、みつまた、春めき桜、ミツバツツジ 等早春の山野草をゆっくりと堪能出来てとても満足でした。

活動時間 5時間55分(休憩タイム 1時間38分)

距離 9 km

上り 425m 下り 459m

平均ペース 90～110%

(記 田村(め))



東京アルコウ会

代表 田村 正博 TEL 080-5430-6532

〒270-2241 松戸市松戸新田500-8-608

事務所 久住 宅 TEL 090-4398-3037

〒162-0051 新宿区西早稲田2-1-23-806

E-mail : tokyo.arukoukai@gmail.com